

令和５年度 第２回学校運営協議会
(兼 高校と地域で創る未来のプロジェクト事業地域連携組織)
議 事 録

日時 令和５年１１月２８日（火）１３：３０～１６：００

場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館３階会議室

（委員１５名全員出席（内１名リモート）、岡山県教育庁高校教育課高校魅力化推進室 同席）

１ 開会行事

- （１）校長挨拶
- （２）会長挨拶
- （３）事務局より

２ 授業参観・施設見学

３ 報告

【議長】

最初に、事務局より学校の教育活動や課題について説明をいただきたい。

【事務局】

学校の課題についてお話しした後、資料に基づいて説明をしていく。

本年度１１月末まで教育活動をしてきたが、特に課題だと感じていることを３点お伝えしたい。

まず１点目は、支援が必要な生徒が多いことである。今年度入学した１年生は、中学校の時に個別の教育支援計画があった生徒や支援学級に在籍していた生徒が多い。全体に向けての言葉だけの指示では理解できない生徒が増えている。いろいろなケースがあるが、個別での説明や紙面での説明が必要だったりする。各担任も時間を割いている状況である。

令和元年度から本校は通級を導入している。平成３０年度に協議の上、本校に導入されたものである。中学校までの支援学級とは異なり、ソーシャルスキル教育、例えばコミュニケーション力の向上トレーニングなどを行っている。週２回７限目に１～３年まで希望生徒が通年で授業（トレーニング）を受けている。

本校に通級を導入することに対し、教員１名の加配はあるが、特別なスキルや特別支援の免許を持っている教員が加配されるのではないため、高校教員免許のみの教員が指導を行っている現状である。

我々教員も研修は行っているが、特別支援教育についてのスキルは専門の教員のように高いわけではないため、支援が必要な生徒に日々時間を割いている状況であり、課題だと感じている。

２点目は、地域協働活動コーディネーターについてである。現在、本校の魅力発信に尽力いただいているが、これは岡山県の事業として令和４～５年度に予算化され本校に配置されたものであり、来年度からは本校に予算がつかない。現在は専門のスキルを持った地域協働活動コーディネーターに魅力発信をしていただいているが、来年度以降予算が打ち切られるとなると、教員で魅力発信をしていかななくてはなくなり、相当な時間を割かれ働き方改革の観点からも懸念をしている。

３点目は、生徒の交通安全についてである。地域の方から、校外でのバイクの乗り方などについて、少なからず苦情が寄せられる。一番大事なのは生徒の命である。自転車のヘルメット着用が努力義務となり、学校でも着用するよう呼びかけてはいるが、着用率はそれほど上がってはいない。

現在、自転車条例を岡山県でも作成中であるが、全国的に見ると岡山県は後れをとっている。高等学校では通学範囲が広域になっており、通学路の安全確保の観点からみても、教員だけでは目が行き届かないため、いろいろと情報をいただきたい。

これらのことについて、後ほどご意見をいただきたい。それでは、資料の説明をしていく。

(1) 学校経営・組織編成に関する事項

- 令和5年度 学校経営計画書について
- 令和5年度 三つの方針（スクール・ポリシー）について
- 令和5年度 学校評価書（中間達成状況と評価）について

(2) 予算執行に関する事項

- 令和5年度の主な事業と予算（執行状況）について

(3) その他関連する事項

- 令和5年度 主な事業・取組等について

1. 行事等

(1) 勝央町関係

- ・勝央町役場前植栽（4/26(水) 9/27(水)）
- ・ノースヴィレッジ花壇植栽（5/15(月) 10/16(月)）
- ・J R勝間田駅舎へのプランター設置（6/19(月) 11/10(金)）
- ・勝央町役場前販売（7/13(木)）
- ・金時祭 出店（10/8(日)）
- ・勝央町スイーツまつり&マルシェ（11/23(木)）
- ・勝央町フードドライブへの協力

(2) 小・中学校との連携関係

○勝央中学校

進路説明会（9/27(水)）への参加

○勝間田小学校

サツマイモ学習交流（5/29(月) 10/18(水)本校園場）

森林交流学习（6/19(月)事前学習 6/22(木)演習林(津山市加茂)）

○勝央北小学校

草花寄せ植え交流（5/9(火)）

○中学校での進路説明会

県北中学校 17校（6/12(月)～10/18(水)）

○その他

セーブジャパン小中学生森林教室（5/3(水) 8/26(土)演習林(津山市加茂)）

(3) 校内行事等

○清風祭体育の部…6/9(金)家族限定公開、午前中のみ開催

○清風祭文化の部…11/18(土)クラス等の展示・発表 家族限定公開、模擬店あり

11/19(日)コースによる販売・展示・体験 一般公開(9:00～11:00)

○修学旅行…10/11(水)～13(金)東京方面実施

○オープンスクール…10/21(土)実施（中学生 120 人、保護者 73 人が参加）

○農産物販売…苗物販売(4/20(木) 9/21(木)) 夕暮 苗販売(11/10(金))

シラヤン販売（11/29(水)） 冬野菜販売(11/29)

○加工品販売…事務室窓口販売、ゆのこうマルシェへの出店

○地域清掃活動…6/21(水) 9/20(水) 1/17(水)

(4) その他

○「みま咲く未来フォーラム 2023 in 津山」（10/21(土)）生徒発表

○「高校生探究フォーラム 2023」（12/26(火)）生徒発表

○日本伐木チャンピオンシップ鳥取（10/28(土)・29(日)）生徒出場

○高校生ものづくりコンテスト自動車整備部門（6/3(土)）生徒出場

○高校生ものづくりコンテスト溶接部門（12/16(土)）生徒出場

○農マル園芸寄せ植え甲子園（10/30(月)）生徒出場

○森林を考える岡山県民のつどい（10/14(土)）生徒ブース参加

2. 情報発信

（１）地域協働活動コーディネーターによるＳＮＳ（Facebook、Instagram）での情報発信

（２）学校ホームページの更新

（３）「広報しようおう」紙面の提供

3. 令和5年度進路指導状況の報告

（４）地域協働活動コーディネーター活動報告

【議長】

事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

【委員A】

現在、通級指導を受けている生徒は何人いるのか。

【事務局】

本校の通級の定員は各学年6名としている。県下で4校が実施しているが、5名という学校もある。講座という形態をとらず1対1という形態で行っている学校もある。

【委員A】

岡山県としても大きな課題である。通級指導は特色にもなるのでは。専門の人がつくことが必要だと思う。

【委員B】

主な事業取組等の説明で、生徒の活躍が紹介されていたが、この他にも美作うまいもん商店街で、2年生の生徒2名が実行委員として活躍していた。そのことを高校は知っているのか。

また、教えていただきたいのは、何をきっかけに勝間田高校に入学したかをリサーチしているのか。

今年度の進路実績で、農林業関係が少ないのが気になった。

農業クラブの活躍状況は。全国大会へ出場しているのか。

【事務局】

美作うまいもん商店街で、本校生徒が実行委員として活躍しているのは知っている。とくに活躍していた生徒は本校の生徒会長でもある。

勝間田高校へ入学したきっかけについては、調査できていない。今後入学後すぐに調査をしていきたい。ただオープンスクールや学校説明会に参加している生徒は、ほぼ入学をしてきている。興味を持って入学してきていると理解している。

（今年度林業関係への就職が少ないのは）今年度の森林系列の3年生は4人しかいないからである。昨年度は森林系列の生徒は10名中5名以上が就職しているが、今年度は森林組合への就職が1名、県の林業職が1名、にちなん森林アカデミーへの進学が1名、一般企業への就職が1名である。

農業関係への就職が少ないとのことだが、農業関係の会社からの求人数はほぼ0なのが現状である。今年度から2年生対象に、県立岡山農業大学校への見学会を実施した。昨年度、県立岡山農業大学校への進学は1名で、希望者は数名いたが不合格になり、やむなく一般企業へ就職をした生徒もいる。現在、基礎学力の定着や進路意識の広がりを持たせるために取組を始めており、日本農業技術検定を園芸・食品系列の生徒に挑戦させている。

農業クラブの活躍について紹介できていなかったが、今年度も全国大会の鑑定競技へ各系列から代表生徒が出場し、森林分野で優秀賞を受賞した。また、測量競技県大会では水準の部で最優秀賞と優秀賞を受賞、セオドライトの部で優秀賞を受賞している。家畜審査県大会では、乳牛の部・和牛の部でそれぞれ個人が優秀賞を受賞した。

4 協議

【議長】

本日は協議題として、「勝間田高校のさらなる魅力化・教育の充実」について協議を進めたいが、1つ提案がある。まずは事務局から説明をお願いする。そして、そのことについて協議し、この学校運営協議会から岡山県教育委員会へ要望をしていきたいと考える。

【事務局】

さらなる魅力化として、それぞれの委員の皆様の強みを生かして提案をお願いしたい。

【委員C】

さらなる魅力化推進で勝央町と勝間田高校、そしてしょうおう志援協会とで三者間協定を締結した。勝間田高校の魅力化推進のために月1回話し合いを重ねている。

魅力発信として、地域協働活動コーディネーターの3年間の取組は大きい。地域協働活動コーディネーター配置のための予算が来年度なくなるのは惜しい。必要だということを岡山県に強く訴えたい。（学校の魅力や教育活動を）「伝える」ということは大事である。

支援が必要な生徒に先生方の負担がいつている。その上さらに広報を教員が担うのは負担が大きい。現在、地域協働活動コーディネーターをしている方との関わりがなくなるのはもったいない。まだ必要だと思うので、要望してほしい。

【委員D】

現在の地域協働活動コーディネーターの活動がゼロになると、勝間田高校にとって大きなマイナスになる。（情報発信は）生徒募集だけでなく、在校生の有用感アップにもつながっている。教育の強みとして配置の要望をお願いしたい。

【議長】

いろいろと意見をいただき、ありがたい。意見をいただいた中から、

- ・情報発信に関わる予算のお願い
- ・支援が必要な生徒に対する専門の人の配置

の2点を、勝間田高等学校運営協議会として岡山県教育委員会へ要望したいと思うが、いかがか。

（委員全員が了承）

では、この2点を要望としてあげていく。

【事務局】

意見書としてまとめていきたい。第3回の運営協議会でお示しする。

5 閉会行事

事務局より

- ・第3回学校運営協議会について 2月下旬で調整
- ・今後の行事についての案内